

「時はその使い方によって金にも鉛にもなる」

プレヴォ



本名、アントワーヌ・フランソワ・プレヴォ・デグジル (Antoine François Prévost d'Exiles、1697 年 4 月 1 日 - 1763 年 12 月 23 日) は、フランスの小説家。北フランスのエダンの旧家に生れる。

イエズス会の学院で、学んだ後、軍務と聖職の間をゆれ動いたが、結局聖職者の道を選んだが僧院からの再三の脱走、イギリス、オランダへの逃亡、恋愛、破産等々、波瀾に満ちた生涯を送った。

オランダ滞在中に発表した『ある貴人の回想録』が好評を博し、以後 66 巻におよぶ作品を残す。『ある貴人の回想録』は 20 編の独立した小説から成る長編小説で、『マノン・レスコー』はその第七巻として書かれた。カトリック教会の聖職者であったため、アベ・プレヴォ (Abbé Prévost、僧プレヴォ) と短縮して呼ばれることが多い。